

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年2月9日発行

－ 2017.1.30～ 2017.2.5－ 第5週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第2週	第3週	第4週	第5週
水痘	1 0.20	2 0.20	1 0.20	1 0.50	4 1.33	5 1.00	2 1.00	6 0.22	22 0.37	172		○	○	レ
流行性耳下腺炎		11 1.10					1 0.50	3 0.11	15 0.25	61				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	21 4.20	16 1.60	6 1.20	9 4.50	15 5.00	4 0.80		73 2.70	144 2.44	1,123	◎	◎	◎	◎
手足口病									0 0.00	7				
伝染性紅斑		1 0.10						1 0.04	2 0.03	12				
突発性発しん		2 0.20	5 1.00	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	11 0.41	25 0.42	121	○	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	6				
インフルエンザ	409 51.13	393 26.20	493 61.63	106 35.33	193 38.60	353 44.13	141 35.25	1389 31.57	3477 36.60	12,130	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		1 0.10	1 0.20					5 0.19	7 0.12	51				
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	13				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58 11.60	39 3.90	2 0.40	1 0.50	3 1.00	57 11.40	3 1.50	56 2.07	219 3.71	770	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		2 2.00				2 2.00	2 0.40	7 0.58	42				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.60	1 0.10	1 0.20			1 0.20		4 0.15	10 0.17	50				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	2				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	3	1					10		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病								2					
	不明発疹症								1					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 49例

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第2週採取分	ノロウイルスGⅡ群	3件
	第3週採取分	ノロウイルスGⅡ群	1件

インフルエンザ患者より

塩釜管内	第3週採取分	インフルエンザウイルスAH3型	2件
石巻管内	第4週採取分	インフルエンザウイルスAH3型	3件
大崎管内	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH3型	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第2週採取分 (1.9～1.15)	第3週採取分 (1.16～1.22)	第4週採取分 (1.23～1.29)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	6件	5件
RSウイルス	0件	2件	3件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
ムンプスウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	2件	0件	0件

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

先週に引き続き、県内全域で患者報告数が警報レベルを超え、患者数が多い状況となっています。入院患者報告数も例年と比べ多い状況です。インフルエンザは通常のかぜと比べ、重篤化し肺炎などを起こしやすいことから、感染が疑われた際には、早めの受診を心がけ、早期の診断・治療を行うことが重要です。

【梅毒】

県内ではすでに9名の患者報告があり、2016年は年間で29例、昨年同期の報告数が0例であることをみても、報告数が増加しています。全国的には2010年以降増加傾向を示し、2016年は年間の報告数が43年ぶりに4000人を超えています。梅毒は抗生物質での治療が可能ですが、終生免疫が得られず、再感染することもあるため、注意が必要です。

厚生労働省HP「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakuniysuite/bunya/kenko_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内	女性1名
仙南管内	男性1名
栗原管内	男性1名(2016年第51週)、男性1名(第4週)
仙台管内	男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)

大崎管内	男性1名
------	------

4類感染症: A型肝炎

仙台管内	女性1名
------	------

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

塩釜管内	男性1名
ウイルス性肝炎	
仙台管内	男性1名
梅毒	
仙台管内	男性1名

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、
仙台管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南、石巻管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

